

2024年11月2日

各 位

旭化成株式会社

**当社陸上部の池田向希選手に課せられた暫定的資格停止処分について**

今般、旭化成株式会社（以下「当社」）陸上部所属の池田向希選手が、ワールドアスレティックスが設置する Athletics Integrity Unit（以下「AIU」）より、ワールドアスレティックス・アンチ・ドーピング規則（以下「規則」）に基づく暫定的資格停止処分を受けました。今後、池田選手は AIU に対して暫定的資格停止処分の取り消しを求める申し立てを行うとともに、AIU の Disciplinary Tribunal において規則違反がないことを主張・立証していきます。

当社は、池田選手へのヒアリングのみならず、専門家の方々にも意見を求め、それらを通じて池田選手にアンチ・ドーピング規則違反はないものと認識しており、今回の暫定的資格停止処分が速やかに取り消され、池田選手の潔白が証明されるよう、今後も鋭意対応してまいります。

## 1. 経緯

## ① 2024年6月28日

AIU より、AIU が実施した 2023 年 6 月から 8 月にかけての血液検査値から血液ドーピング<sup>※</sup>の疑いがあること、弁明がある場合には所定の期日までに提出すべきこと等の通知を受けました。

※血液ドーピング：血液（自己輸血）ドーピングとは、自身の血液をあらかじめ採血して保存しておき、大会前にその血液を自己の体内に戻すことで赤血球量を増やし、パフォーマンスを向上させようとする方法のことをいいます。

## ② 同年7月24日

池田選手は AIU に対して弁明書を提出いたしました。

## ③ 同年11月1日

AIU より、正式にアンチ・ドーピング規則違反として立件する旨および本件が最終的に解決されるまでの間の暫定的資格停止処分を下す旨の通知を受けました。

## 2. 血液ドーピングと疑われた事象について

本件は、池田選手の体内から、世界アンチ・ドーピング機構が公表する禁止表国際基準に記載の禁止物質が検出されたものではありません。

AIU では、血液ドーピングを検出するために、池田選手を含む、国際レベルで活動する一部の選手を対象に、定期的に血液検査を行い、血液中のヘモグロビン等の数値を計測しています。そして過去の数値から選手ごとに設定された限度を超える変化が認められ、これが禁止物質、禁止方法の使用の結果であると考えられる場合には、その旨選手に通知し、当該変

化が規則違反によるものでないことの弁明を求めることとしています。今回の件は、昨年6月に採取された池田選手の血液検査においてヘモグロビン等の数値が限度を超えて変化したことに関するものです。

本年6月の通知を受けて、池田選手は、自身の生活情報やトレーニング情報、体調に関する情報や国立スポーツ科学センターで保管されていた池田選手の血液検査データなどの情報を収集するとともに、アンチ・ドーピング研究分野に造詣の深いスポーツドクターや医学研究の専門家の方々にご助力をお願いしました。

その結果、専門家の方々からは、池田選手のヘモグロビン等の数値が変動した原因は、当時の池田選手の練習や生活の環境および体質、処方薬<sup>\*</sup>の副作用等により、血管内溶血や消化管出血が起きていたことによるものであり、血液ドーピングによるものではないとのご見解をいただき、その旨の弁明書をAIUに提出しておりました。

<sup>\*</sup>世界アンチ・ドーピング機構が公表する禁止表国際基準に記載の禁止物質を含むものではありません。

### 3. 今後について

池田選手は、今後AIUに対して暫定的資格停止処分の取り消しを求める申し立てを行うとともに、規則違反を否認し、Disciplinary Tribunalの審問を求める書面を提出する予定です。

### 4. 本件に対する当社の姿勢

当社は、スポーツ界におけるドーピングには強く反対し、これを撲滅するためのAIUをはじめとする各種国際・国内機関の理念と活動を全面的に支持します。一方で、上述の通り当社は、池田選手本人のヒアリングのみならず、医学的見地から専門家の方々の意見書を頂戴し、池田選手にアンチ・ドーピング規則違反はないものと認識しております。そのため今後も池田選手が潔白を証明するための活動を全面的に支援してまいります。加えて、これまで数多くのオリンピックを輩出してきた企業として、今回の事態を受けて、アンチ・ドーピングの理念とアスリートの正当な競技参加が両立されるためにできることがないか、今後関係各所ともご相談させていただきつつ検討してまいります。今後とも、池田選手の活動にご支援とご理解を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

### 5. 池田向希選手のコメント

今回、全く身に覚えのない理由で今後の試合に出場できないかもしれない状況となり、たいへん困惑しております。6月28日にAIUから通知を受け取って以来、多くの医学専門家、競技関係者その他関係者の方々にご協力いただき、潔白である事実を根拠とともに訴えてまいりました。今後真実が明らかになり、公正な結論が導かれるよう引き続き努めてまいります。

今後ともご理解とご支援をいただければありがたく、何卒よろしくお願いいたします。

以上